

ベルマーク新聞 4月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都中央区築地5-4-18 汐留イーストサイドビル7階 〒104-0045 電話 03-5148-7255(代表)
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ <https://www.bellmark.or.jp/>

創立90周年「みんなの時計台」

福岡市立吉塚小、ベルマークを集めて設置



①お披露目された「みんなの時計台」②銘板を覆ったシートを外す③お披露目式の様子



「みんなでベルマークを集めて時計台を！」。そんな運動を進めてきた福岡市博多区の市立吉塚小学校の校庭に、ポールに支えられた直径70センチの時計が立ち上がり、2月にお披露目式が開かれました。名付けて「みんなの時計台」。地域ぐるみで収集に取り組んだ同校は、コロナ禍に見舞われながらも、創立90周年を迎えた2020年度に設置する目標を果たしました。

3月、同校に取材しました。吉塚小が創立90周年を記念して学校環境を整える計画を立てたのは2018年。計画には屋外にポール型の時計を立てることも盛り込まれました。そこから時計購入を目指して、学校と地域が一緒になったベルマーク収集活動が始まりました。「ベルマークなら1年生から参加できます。寄付金ではなく、みんなで力を合わせて実現したいという思いがありました」と太田康治校長(4月に異動)。

目標は大きく「100万点」。翌2019年度には4年生児童による臨時の「ベルマーク委員会」が作られ、ベルマーク回収の呼びかけなどを始めました。学校側も廊下に会社番号別の引き出しがある棚を常設し、児童たちの活動に便宜を図りました。このほか公民館などにも回収箱を設置。地域の自治協議会が収集を呼びかけたり、校区内の企業が同校にマークを寄せてくれたりもしたそうです。

集めたベルマークは児童の委員会が昼休みを使って会社ごとに仕分け、その後はPTAの委員会が点数別に集計

しました。2019年度は13万5427点を積み上げ、吉塚小は年間集票点数で福岡県2位になりました。

ところが、思わぬ障害が待ち受けていました。コロナ禍です。同校では2020年2月以降、ベルマークに関わる活動ができなくなりました。「校内には、まだベルマークやカートリッジがたくさん残っています」と太田校長。でもベルマーク預金の残高は、過去に貯めていた分も含めて25万3781点に達していました。このため同校は、不足分はPTA費で補充することにし、預金全額とあわせて昨秋、念願の時計を購入しました。

協会のセイコータイムシステムから学校に届いた時計は校長室前に1週間展示された後、校庭に設置されました。ポールの高さだけで4メートル以上あり、校舎側からも校庭からも時間を確かめることができます。電力はソーラーで供給します。

お披露目式では、全児童や教員に加え地域の公民館長も招かれて出席。ベルマーク委員の児童たちが司会役になり、ポールの足元に据え付けられた銘板を覆ったシートを外しました。そこには「みんなの時計台」の文字が。冬休み期間に全児童から時計の呼び名を募った際、最も多かった名前でした。銘板のデザインと製作は、技術のある保護者が担当したそうです。

太田校長は「ベルマークの点数は0.5点や1点とわずかでも、みんなで力を合わせれば大きなものになる。またコツコツと集めることができた」と語りました。

ベルマーク預金、HPで残高照会

4月からシステムが稼働しました

各参加団体のベルマーク預金残高を、2021年4月から財団ホームページで照会できるようになりました。ぜひご利用ください。

トップページ上部の「残高照会」から入ります。最初に「PTA番号(登録番号)」を入力して次に進みます。

今回は「都道府県名」と「学校・団体名」を入力します。学校・団体名は、財団の登録名をお願いします。財団からの郵便物の宛て名に使われているものです。入力が正しければ、「進む」ボタンで現



在の使用可能金額が表示されます。金額データの更新は週ごとで、毎週初めの平日に更新作業をします。

毎年10月にお送りしていた残高通知はがきは今年度から廃止します。操作についての不明な点があったり、登録名が分からなかったりしたときは、ベルマーク財団(03-5148-7255)までお問い合わせ下さい。

2021年の説明会は中止します

コロナ禍に配慮、今年も「バーチャル説明会」用意

ベルマーク財団は、5月と6月に全国で予定していたベルマーク運動説明会を中止することにしました。新型コロナウイルス感染が沈静化する見通しが立たないことを踏まえた決定です。昨年に続き、2年連続の中止となってしまい、大変申し訳ありません。

会場を絞って感染対策の措置を講じる方法なども検討し、開催の可能性をギリギリの3月末まで模索しましたが、変異株の広がりもあって感染状況は予断を許さない状況が続いています。このため残

念ですが、今年も説明会を中止せざるを得ないとの最終判断に至りました。

各参加団体には、個別に説明会の中止をお知らせするハガキをお送りします。また昨年と同様に、説明会で予定していた内容の一部を「バーチャル説明会2021」として、財団ホームページでご覧いただけるように用意いたします。5月の連休明けにアップする予定です。

なお、東京都の緊急事態宣言が解けたため、財団の電話受付は午前9時～午後5時の通常態勢に戻しました。